

## ACS クレーン異常作動検知エラーによる動力遮断状態からの復帰方法について

ラフテレーンクレーン KRM-35H-Ⅲ型 (MR-350Ri) に装備する ACS (全自動過負荷防止装置) は、レバー操作に関わらずクレーンが安全な状態ではないと判断した場合、油圧動力を遮断し動作を止めるように制御します。

油圧動力が遮断された状態 (当該制御下) においては、レバーを操作してもクレーンは動作しません。

しかし、操作の反復により機能が回復することを想定し、一旦すべての操作レバーを同時に中立にすることにより、油圧動力を復帰させ、クレーン操作が可能とすることができます。

上記の不具合からの復帰対応方法が可能なエラー番号は別紙に記載していますので確認願います。

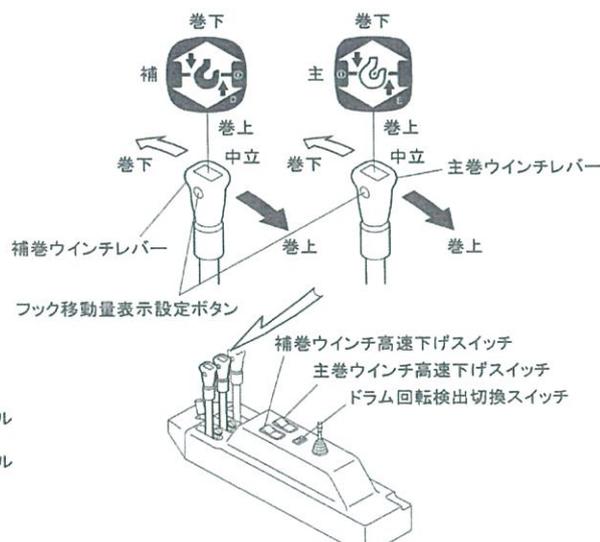
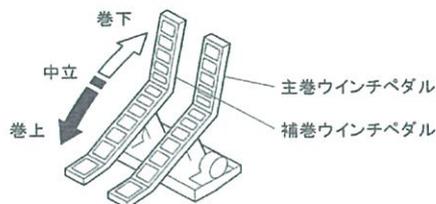
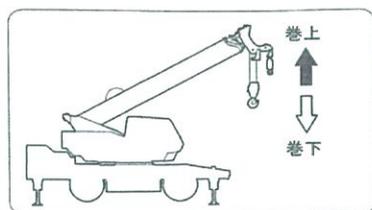
### \* 復帰方法

例：下記の図のように全操作レバー (起伏・伸縮・旋回・ウインチ・ジブ) を中立位置に戻すことで、安全装置の停止機能が解除され巻き上げ操作が可能になります。

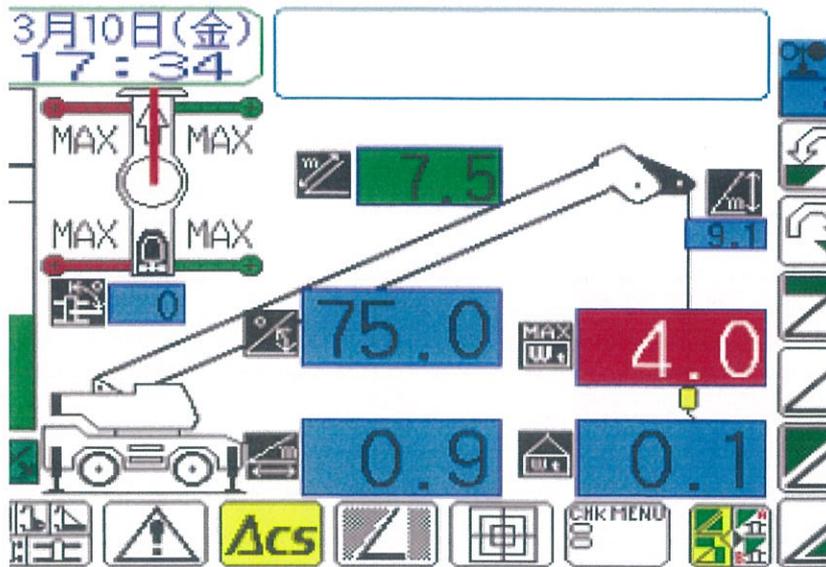
#### 22-3 巻上・巻下操作 (531A-0063-0J)

↑：ウインチレバーを前へ倒すことにより巻下操作を行います。

↓：ウインチレバーを後へ引くことにより巻上操作を行います。



○ 通常のクレーン安全装置(モーメントリミッター)の常時状態



○ バルブスティックエラーが発生した安全装置の表示



例：上記の表示が発生した場合は、操作する全レバーを中立にする

ことで停止状態を復旧しウインチの巻き上げ操作ができます。

上記の不具合対処エラー番号下記の番号になります。

(E64・E65・E66・E67・E68・E69・E73・E74・E76・E77・E78)